

令和4年度

美術

この試験問題は持ち帰ることができます。

なお、本問題で利用した著作物は、著作権法第36条により、  
試験の目的上必要と認められる限度において複製したものです。  
同目的以外の利用はできません。

(長野県教育委員会)

受験 番号					氏 名	
----------	--	--	--	--	--------	--

(美 1)

〔問1〕 「中学校学習指導要領」(平成29年3月) 第2章 第6節 美術 に即して、次の(あ)～(お)に当てはまる語句を答えなさい。

第2 各学年の目標及び内容

〔第2学年及び第3学年〕

3 内容の取扱い

(2) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、発想や構想に関する資質・能力や鑑賞に関する資質・能力を育成する観点から、〔共通事項〕に示す事項を視点に、(あ)で構想を練ったり、(い)で考えを整理したりすることや、作品などに対する自分の(う)をもって批評し合うなどして対象の見方や(え)を深めるなどの(お)の充実を図ること。

〔問2〕 心でとらえたイメージを絵に表す、中学校第2学年の題材について構想した。次の問いに答えなさい。

(1) この題材で下記の指導事項を取り扱う。「中学校学習指導要領」(平成29年3月) 第2章 第6節 美術 に即して、次の(あ)～(え)に当てはまる語句を答えなさい。

第2 各学年の目標及び内容

〔第2学年及び第3学年〕

2 内容

A表現 (1) ア

(ア) 対象や事象を(あ)見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢、想像や(い)などの心の世界などを基に主題を生み出し、(う)や省略、(え)、材料の組合せなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練ること。

(2) 生徒が表現に生かせるようモダンテクニックの技法を紹介し、実際に試す時間を設けた。以下の技法の名称をカタカナで答えなさい。

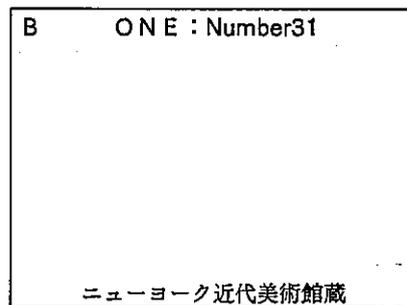
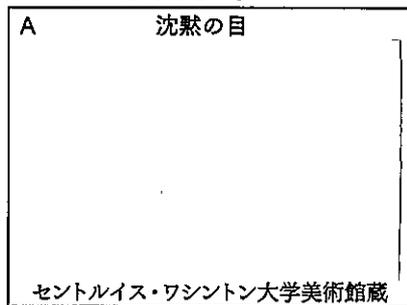
- ① 筆に多めの水で溶いた絵の具を含ませて、画面にたらし技法。
- ② 凹凸のあるものに紙をあてて鉛筆などでこすり、形を写し出す技法。
- ③ 金網に絵の具をつけたブラシをこすりつけ、絵の具を霧状にしてまき散らす技法。
- ④ 水面に墨汁や専用絵の具をたらし、できた模様を上から紙をあて、写し取る技法。
- ⑤ 絵の具をつけた糸を二つ折りにした紙の間にはさんで、紙を押さえながら糸を引く技法。

(3) 指導に当たって必要なことが、学習指導要領解説 美術編(平成29年7月)に、次のように記載されている。次の(あ)～(う)に当てはまる語句を、語群1のa～cから選んで記号で答えなさい。

指導に当たっては、表現のテーマ設定などについて第2学年と第3学年の発達の特性に配慮し、生徒が「何を描きたいのか、何をつくりたいのか、どういう思いで表現しようとしているのか」という生徒自身の思いを教師自身が読み取り、その主題をよく理解することが必要である。そのためには、生徒一人一人の作品の表現意図を読み取る方法を工夫しなければならない。例えば、言葉や文章で(あ)を書かせたり、生徒との(い)を通して表したいことを捉えたり、(う)を付けさせたりすることは、有効な手立ての一つである。

〔語群1：a 対話 b 主題 c 作品名〕

(4) 表現の構想を練る段階で、モダンテクニックを使った作品を鑑賞する場面を設けた。作品A・Bそれぞれの作者名をカタカナで答えなさい。



(5) 本題材において、形や色彩などが感情にもたらす効果を生徒が実感的に理解できるようにしたいと考えた。「中学校学習指導要領」(平成29年3月) 第2章 第6節 美術 に即して、次の(あ)、(い)に当てはまる語句を答えなさい。

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 (1)

ア 〔共通事項〕のアの指導に当たっては、造形の要素などに着目して、次の事項を実感的に理解できるようにすること。

(イ) 形や色彩、材料、光などから感じる優しさや(あ)、(い)などを捉えること。

〔問3〕 デザインに関する次の各問いに答えなさい。

1 地域で行われるスポーツ大会に合わせて、各競技種目を示すピクトグラムを考える題材を構想した。次の問いに答えなさい。

(1) ピクトグラムの考え方として「アイソタイプ」を1925年に考案したオーストリアの哲学者の名前を、語群1のa～cから選んで記号で答えなさい。

〔語群1： a N・E・バンク-ミケルセン      b オットー・ノイラート      c ヴァルター・グロピウス 〕

(2) 主題がもてるように、1964年～1972年までの各オリンピックで用いられた競技種目を示すピクトグラムを提示し、鑑賞をする場面を設定した。図1のような競技種目を示すピクトグラムが初めて用いられたのは、どのオリンピックかを、語群2のA～Eから選んで、記号で答えなさい。

〔語群2： A 1964年東京オリンピック      I 1968年メキシコオリンピック  
            U 1972年ミュンヘンオリンピック      E 1976年モントリオールオリンピック 〕

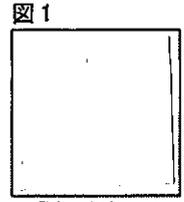


図1 「陸上競技」を示すピクトグラム

(3) さらに、図1を鑑賞しながら、ピクトグラムのデザインを考える上での着目点を確認する場面を設定した。

① 次の文章の(あ)、(い)に当てはまる最も適切な語句を、語群3のd～iから選んで記号で答えなさい。

ピクトグラムは、私たちが生活を営むさまざまな場でよく見られる。これらは、(あ)な形や色を用いて、場所や施設、スポーツの競技などを(い)にわかりやすくあらわしている。そのため、言葉や年齢の壁を超えて直感的に情報を伝えるのに役立つ。

〔語群3： d 発展的      e 直感的      f 複雑      g 強調      h 単純      i 視覚的 〕

② 着色する色は、色が示す意味を参考に決めるとよいと考えられる。また、図と背景の色がコントラストになるように配色すると、視覚的な効果が生かせようである。日本工業規格(JIS)では、色の意味を定めており、例えば、非常口を示すピクトグラムに用いられている緑色は「安全」を意味する。「指示」を意味する色は、何色が答えなさい。

2 右の写真1と写真2は、1985年に提唱されたユニバーサルデザインの考え方に基づいてデザインされた商品である。

(1) ユニバーサルデザインという言葉を最初に考えた人物の名前をカタカナで答えなさい。

(2) ユニバーサルデザインの7原則をa～kからすべて選んで記号で答えなさい。(順不同)

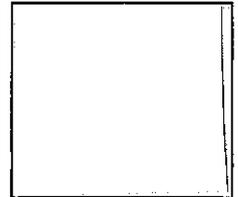
- a 障がい者の社会参加を困難にする障がいを除去すること
- b 誰にでも公平に利用できること
- c 使い方が簡単ですぐわかること
- d 公共施設の段差の解消、誘導用ブロックの整備等を目指すこと
- e うっかりミスや危険につながらないデザインであること
- f 無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に使用できること
- g 使う上で自由度が高いこと
- h 色・形・質感・位置関係・線の太さ・書体・サイズ・画像などの視覚的要素を作品全体で繰り返すこと
- i 必要な情報がすぐ理解できること
- j アクセスしやすいスペースと大きさを確保すること
- k 人に危害を加えてはならないこと。また、その危険を看過することによって、人に危害を加えてはならないこと

写真1



カバーがついた安全な画びょう

写真2



安全で、弱い力でも切れるはさみ

3 いのちを守る道具のデザインを考える授業を構想し、表現の見通しがもてるよう、Qドラムの写真を提示した。Qドラムは、子どもでも50リットルの水を簡単に運べるようデザインされた容器である。そのデザインの特徴を以下に挙げた。次の( )に当てはまる語句を、語群4のa～fから選んで記号で答えなさい。

Qドラムの特徴：( )で円柱の容器なので、穴の中心に紐を通して、引っ張り、転がしながら水を運ぶことができる。

〔語群4： a 球体      b 筒型      c 四角柱      d お椀型      e 正六角柱      f 正十二面体 〕

〔問4〕 彫刻作品を鑑賞する授業を構想した。次の問いに答えなさい。

彫刻1	彫刻2	彫刻3	
彫刻の森美術館蔵	名古屋市美術館蔵	サン・ピエトロ大聖堂蔵	
彫刻4	彫刻5	彫刻6	彫刻7
彫刻の森美術館蔵	宮城県美術館蔵	東京国立近代美術館蔵	彫刻の森美術館蔵

(1) 彫刻1～彫刻7の作品名を語群1のa～iから、作者名を語群2のA～シからそれぞれ選んで記号で答えなさい。

- 語群1： a ロボット家族    b 嵐の中の母子像    c 哭    d 永遠の偶像    e ピエタ
- f 空間の中の一つの連続する形    g ファミリー・グループ    h 女    i ふざげっこ
- 語群2： A ナムジュン・パイク    イ ヘンリー・ムーア    ウ ジョージ・シーガル    エ 佐藤忠良
- オ ミケランジェロ・ブオナローティ    カ 高村光雲    キ アルベルト・ジャコメッティ
- ク 荻原守衛    ケ 柳原義達    コ ウンベルト・ボッチョーニ    サ 船越桂    シ 本郷新

(2) 彫刻1の作者は、「彫刻の置かれる背景として( )以上にふさわしいものはない」と語った。( )に当てはまる言葉を語群3のA～オから選んで記号で答えなさい。

- [ 語群3： A 森    イ 山    ウ 空    エ 海    オ 街並み ]

(3) 彫刻1と彫刻4それぞれに用いられている素材は何か答えなさい。

(4) 彫刻1～彫刻3をつくられた年代の古い方から順に並べなさい。

(5) 彫刻4の作者が師事した人物で、東京国立近代美術館蔵の彫刻作品「手」の作者名を漢字で答えなさい。

(6) 彫刻6の作者は、フランスにおいて、彫刻作品「考える人」に出会い、彫刻家に転じる決心をした。この彫刻作品「考える人」の作者名をカタカナで答えなさい。

〔問5〕 配られたモチーフ（スプーン、ペットボトル、紙テープ）を組み合わせて構成し、それぞれの質感をとらえて、鉛筆で画用紙にスケッチしなさい。

- ・配置や画面構成は自由とする。
- ・配られたモチーフは、すべて使うこと。
- ・画用紙は、縦長・横長どちらの向きでもよい。
- ・使用する鉛筆と消しゴムは、配られたもののみとする。

(美 1)

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

解答例
-----

令和4年度

美術 解答用紙
---------

得 点	
--------	--

筆 記		実 技	
--------	--	--------	--

〔問1〕 計15点 各3点

あ	アイデアスケッチ	い	言葉	う	価値意識
え	感じ方	お	言語活動		

〔問2〕 計20点 (1)計8点 各2点 (2)計5点 各1点 (3)計3点 各1点 (4)計2点 各1点 (5)計2点 各1点

(1)	あ	深く	い	感情	う	単純化	え	強調		
(2)	①	ドリッピング	②	フロッタージュ	③	スパッターリング	④	マーブリング	⑤	ストリング
(3)	あ	b	い	a	う	c				
(4)	A	マックス・エルンスト (エルンスト)				B	ジャクソン・ポロック (ポロック)			
(5)	あ	楽しさ	い	寂しさ						

〔問3〕 計20点 1 (1) 2点 (2) 2点 (3) ①計4点 各2点 ②2点 2 (1) 2点 (2) 計6点 (完答) 3 2点

1	(1)	b	(2)	ア	(3)	①	あ	h	い	i	②	青色
2	(1)	ロナルド・メイス (ロン・メイス)		(2)	b, c, e, f, g, i, j (順不同)							
3		b										

〔問4〕 計20点 (1) 計14点 各1点 (2) 1点 (3) 計2点 各1点 (4) 計1点 (完答) (5) 1点 (6) 1点

(1)	彫刻1	作品名: g	作者名: イ	彫刻2	作品名: a	作者名: ア	
	彫刻3	作品名: e	作者名: オ	彫刻4	作品名: c	作者名: シ	
	彫刻5	作品名: i	作者名: エ	彫刻6	作品名: h	作者名: ク	
	彫刻7	作品名: f	作者名: コ				
(2)	ウ	(3)	彫刻1	ブロンズ	彫刻4	クスノキ (楠, 木)	
(4)	彫刻3 → 彫刻1 → 彫刻2 ( 3 ) ( 1 ) ( 2 )			(5)	高村光太郎	(6)	オーギュスト・ロダン (ロダン)

〔問5〕 (画用紙に描写) 計25点

<p>〈採点基準〉①～⑤の各項目を5段階で評価し、合算する。          【観点】①形 ②質感 ③明暗 ④画面構成 ⑤総合的な表現力</p>
---